

爆心地は、家も人も市電も、上から押しつぶされたかっこうでした。
少し爆心地から離れたところでは、横から爆風で押しつぶされたようなかっこうでした。
日赤病院か、陸軍病院では、被爆した人たちが皆、
病院へ行けば、治療してもらえるとあって、集まっていました。
ところが、病院の窓ガラスは割れ、病院患者、医者も皆やられています。
その場で、倒れていく人も多いし、次の日には、うじが、わいて、折り重なって皆死んでいる。

坂田弥七さんの体験記より

お茶を少しずつ、唇につけてあげましたが、暗くてこぼれるなどして、

たちまちにして、空になりました。

困り果てていたところ、

山の辺りの暗がりには、壊れた水道から、水が流れているのに気付き、

まさに、地獄に仏とは、この事とはばかり

「あった。あった」と急いで、汲みに行きましたが、

つまずき、ハッとして見ると、息絶えた、お方。

「すみません」と心で詫び、手を合わす。

久保タエコさんの体験記より

救護活動はとても悲惨でした。衛生兵は聴診器を持っているのですが、

これは人の生死を見分けるためのものですが、

患者の体には浴衣がびったりくっついていて、それをピンセットではがすと皮膚もいっしょにはがれ、

リンパ液が流れて出てきます。それはとても腐ったような匂いがあるんです。

食事なんてとれる状態ではありませんでした。

また、寝かせている患者の目からウジがわいてくるので、それをピンセットでひとつひとつとって、

空缶にいれようとするのですが、ウジがピンセットにくっついて、

空缶にたたきつけて落とそうとしてもなかなか落ちず、たいへん苦労しました。

福井秀男さんの体験記より

しまってはいけない記憶 体験記にみる 救援・救護活動

平成16年4月1日(木)～平成17年3月31日(木)

前期 平成16年4月1日(木)～平成16年9月30日(木)

展示会場 情報展示コーナー

後期 平成16年10月1日(金)～平成17年3月31日(木)

開館時間 裏面参照

(展示する体験記は、前期と後期で入れ替えます。)

入場
無料

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館企画展

1945(昭和20)年8月6日、

広島は、一発の原子爆弾により、焼け野原になりました。

一瞬にして、たくさんの人々が犠牲になり、

街は大混乱に陥りました。

こうしたなか、被爆直後から、

生き残った人々によって、

救援・救護活動は始まっています。

しかし、負傷者の数はあまりにも多く、

薬や食べ物は不足していました。

苦しむ負傷者に、十分な手当てをすることができず、

人々は、次々と亡くなっていったのです。

今回の企画展は、

救援・救護活動に従事した方々の体験記を紹介しています。

被爆者は、それぞれの立場から、

被爆の惨状を、赤裸々に語っています。

被爆者の

「こころ」と「ことば」に

ふれて下さい。



二〜三才くらいの女の子を見付け、最初は、その指さす方向をあちこちと連れて歩いたが、母親を見付けることは出来なかった。しかし、彼は、部隊として行動しているので、何時までも女の子に係わっているわけにはいかない。かといって、その子を置いて行くには忍びない。そこで、彼は、班長の許可をえて、荒縄を探してきて、子供を背負って、救援作業に当たることになった。…

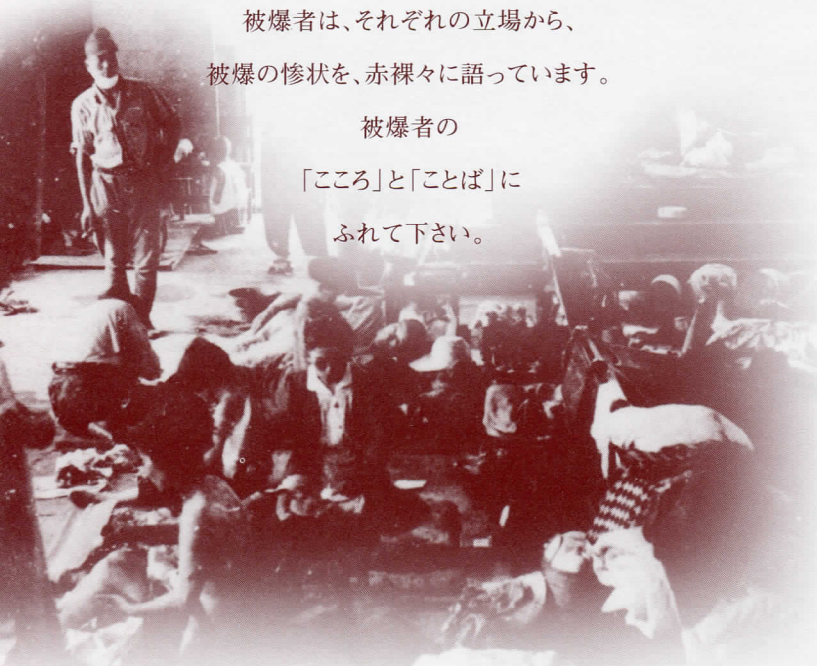
…彼は手拭を少女の頭に掛けて、直接日光を避け、暑さに耐え、作業に従事しながらも、母親を探した。しかし、母親を見付けることはできなかった。…

…他の将校とともに、広島駅を離れた。したがって、その子が、母親と再会できたかどうか、については、全く知る術もなかった。間もなく、八月十五日の終戦。隊員は、慌ただしく別れて、全国へ散っていった。…

…三十年後の「戦友会」の席であった。…

…当然のこのように、あの子供のことが話題になった。

前田三郎さんの体験記より



【開館時間】

- 4月 1日～ 7月31日…9:00～18:00
- 8月 1日～ 8月15日…8:30～19:00
- 8月16日～11月30日…8:30～18:00
- 12月 1日～ 3月31日…9:00～17:00

【休館日】年末年始(12月29日～1月2日)

【入館料】無料

【交通案内】

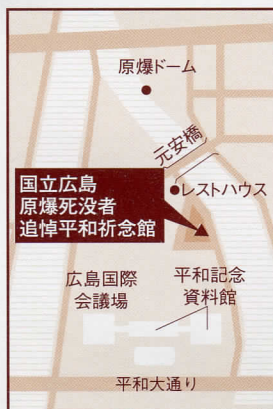
- JR広島駅(南口)から(約20分)
- ・バス/広島バス吉島方面行で「平和記念公園」下車
 - ・市内電車/紙屋町經由広島港(宇品)行で「本通り」下車
 - 宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車
- JR横川駅から(約10分)
- ・市内電車/広電本社前行で「原爆ドーム前」下車

【お問い合わせ先】

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

〒730-0811 広島市中区中島町1番6号 TEL:082-543-6271 FAX:082-543-6273

ホームページ:<http://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/>



当館では、被爆体験記と原爆死没者の遺影を収集し、公開しています。
企画展では、被爆体験記を中心に、当時の写真、関連する遺品などを展示し、
原爆被害の全体像に迫ります。

被爆体験記や原爆死没者の遺影をお寄せください。

ご遺族の皆様のご協力をお願いいたします。